

感染症に気をつけよう!

2022年【2月号】



横浜市内の感染症 流行状況

2月10日
発行

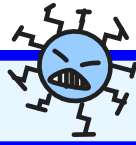
感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	大流行	増加	オミクロン株による第6波が流行中で、子どもと高齢者の割合が増えています。【'22.1号】
梅毒**	発生	横ばい	報告数の比較的多い状況が、継続しています。【チラシ 梅毒知ってますか?無料・匿名検査】

国立感染症研究所*

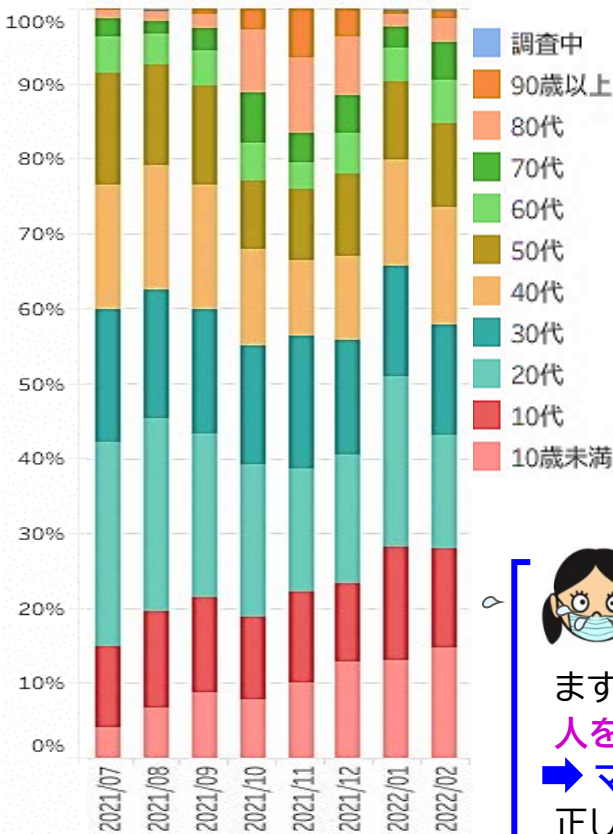
厚生労働省**

横浜市衛生研究所【感染症情報センター】

今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症



陽性患者の年代別割合の推移 (月別)

2021年7月以降 2022年2月7日時点

- ウイルスに感染した場合、体内でウイルスが増殖すると、**症状が無くても唾液や鼻汁などにウイルスが含まれるようになっていきます。**
- そのウイルスを含んだ飛沫(しぶき)は、**咳やくしゃみ以外に、会話や咳払い、スポーツで体を動かした時の激しい呼吸でも、口や鼻から出る可能性があります。**



- マスクを着けていても、鼻が出ていたら飛沫が飛び散ります。無症状でも、**知らないうちに他の人を感染させてしまうかもしれません。**
- マスクは**すき間なく顔にフィットさせ、正しく使いましょう。**



陽性患者数の推移 (公表日別)

2021年7月1日以降
2022年2月7日時点

参考リンク: 横浜市保健所

【「はたらく細胞」と横浜市がコラボレーション!】

【新型コロナウイルス感染症に関する情報について】

